

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(令和7年9月分【埋立中共通調査】)

【大気質、水質（一般項目）】

国土交通省 近畿地方整備局

大阪港湾局

大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

I 事後調査の概要

1. 調査概要	I - 1
2. 工事の実施状況	I - 3
3. 調査結果の概要	I - 4

II 事後調査結果

1. 大気質	II - 1
2. 水質	II - 9

I 事後調査の概要

1. 調査概要

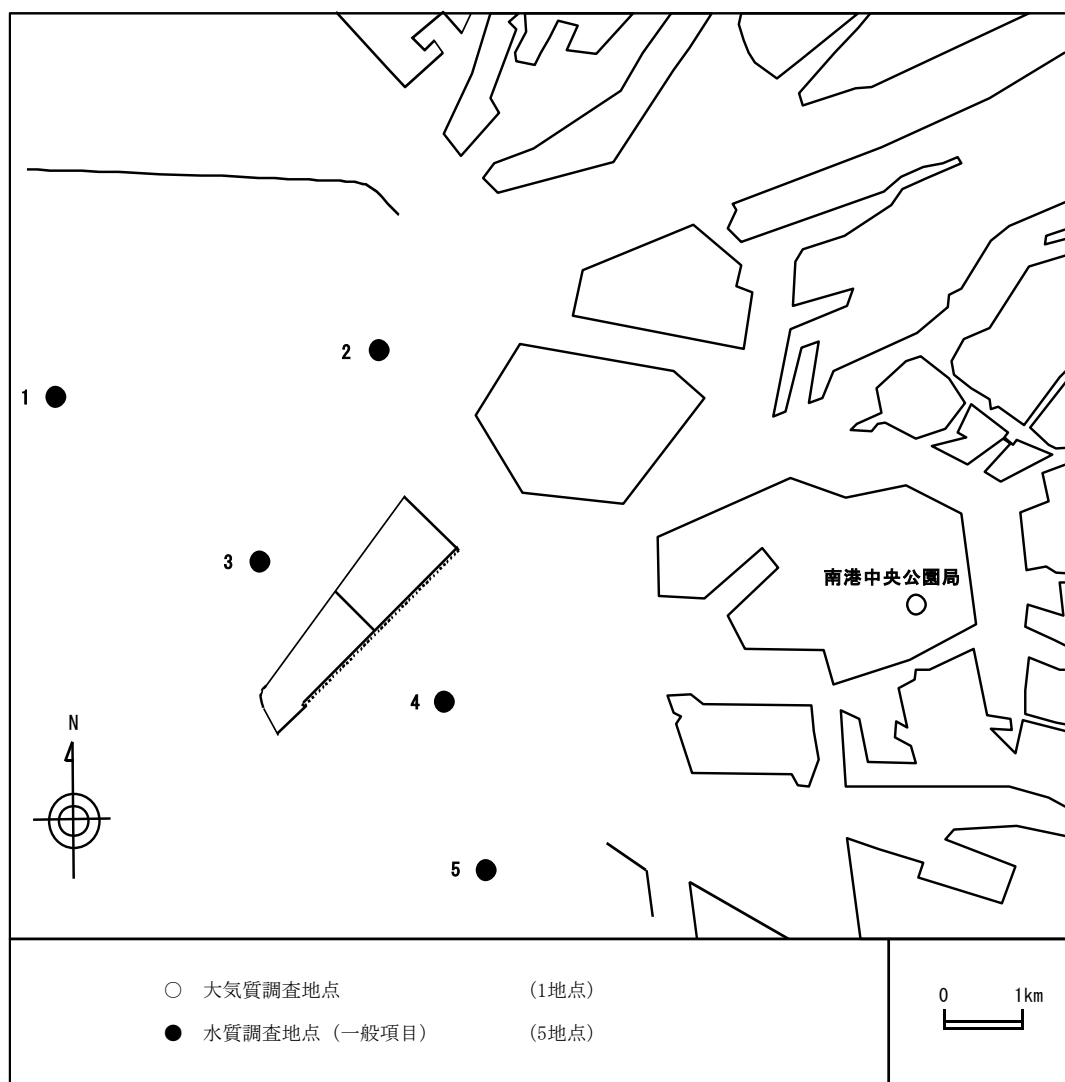
「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく令和7年9月（大気質、水質）の事後調査の概要は表－1に、調査地点の位置は図－1に示すとおりである。

表－1（1）事後調査の概要（埋立地周辺における調査 大気質）

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO ₂) 窒素酸化物(NO ₂ 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	9月1日～30日	通年連続

表－1（2）事後調査の概要（埋立地周辺における調査 水質（一般項目））

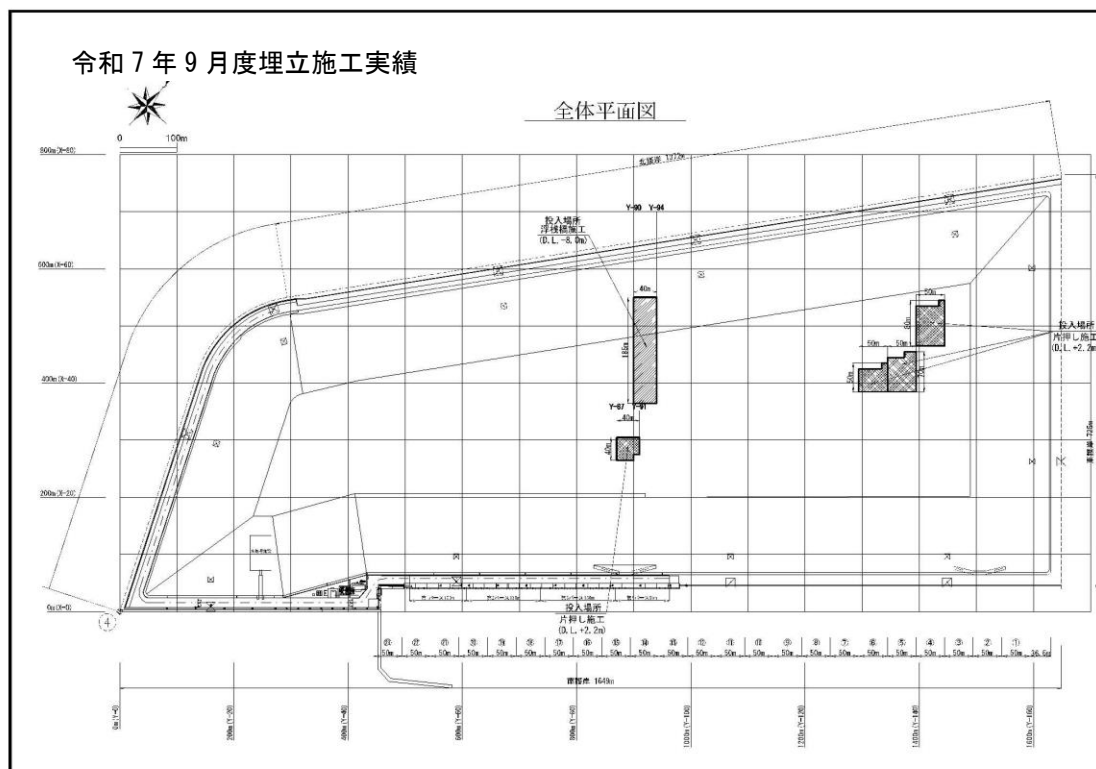
調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	9月2日	1回／月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) クロロフィルa			



図－1 大気質・水質(一般項目)の調査地点

2. 工事の実施状況

令和7年9月の工事の実施状況は、図－2に示すとおりである。



埋立量(m ³)	進捗率(%)
8,405,554.4	60.1

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m³

図－2 工事の実施状況（大阪沖処分場平面図）

3. 調査結果の概要

埋立地周辺における調査

(1) 大気質 [大気質様式第1号～8号]

1) 二酸化硫黄 (SO₂) 【環境基準値：日平均値 0.04ppm 以下、1 時間値 0.1ppm 以下】

二酸化硫黄 (SO₂) の月平均値は、0.004ppm であった。また、日平均値の最高値は 0.005ppm、1 時間値の最高値は 0.014ppm であり、環境基準値を下回っていた。

2) 二酸化窒素 (NO₂) 【環境基準値：日平均値 0.04～0.06ppm のゾーン内またはそれ以下】

二酸化窒素 (NO₂) の月平均値は、0.013ppm であった。また、日平均値の最高値は 0.022ppm であり、環境基準値を下回っていた。

3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値 0.10mg/m³ 以下、1 時間値 0.20 mg/m³ 以下】

浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.016mg/m³ であった。また、日平均値の最高値は 0.039mg/m³、1 時間値の最高値は 0.090mg/m³ であった。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

(2) 水質

①一般項目 [水質様式第1号]

1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8 以上 8.3 以下】

水素イオン濃度 (pH) は上層で 8.5～8.7、下層で 7.8～8.1 の範囲であり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値の範囲内であった。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 1,3,5 (8.5)、調査地点 2 (8.7) 及び調査地点 4 (8.6) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）は上層で 7.7～8.6 であり、一部の調査地点で超過していたが、本調査と同一日に調査が実施された周辺の環境基準点においても、広範囲にわたって pH が環境基準値を上回っていたため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L 以下】

化学的酸素要求量 (COD) は上層で 4.0～6.1mg/L、下層で 1.9～2.6mg/L の範囲であり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 1 (4.0mg/L)、調査地点 2 (6.1mg/L)、調査地点 3 (4.5mg/L)、調査地点 4 (4.8mg/L) 及び調査地点 5 (4.6mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）は上層で 1.6～4.9mg/L であり、一部の調査地点で超過していたが、本調査と同一日に調査が実施された周辺の環境基準点においても、広範囲にわたって COD が環境基準値を上回っていたため、本事業の影響は非常に小さいと考えられる。

3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg/L 以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で 7.6～8.4mg/L、下層で 2.6～4.3mg/L の範囲であり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を下回った調査結果は、下層の調査地点 1 (3.5mg/L)、調査地点 2 (2.6mg/L)、調査地点 3 (2.9mg/L)、調査地点 4 (4.0mg/L) 及び調査地点 5 (4.3mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は下層で 0.6～11mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値：0.6mg/L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で 0.34～1.2mg/L、下層で 0.32～0.52mg/L の範囲であり、上層では一部の調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 2 (1.2mg/L) 及び調査地点 4 (0.61mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.46～2.1mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響は非常に小さいと考えられる。

5) 全磷 (T-P) 【環境基準値：0.05mg/L 以下】

全磷 (T-P) は上層で 0.038～0.17mg/L、下層で 0.046～0.14mg/L の範囲であり、上層では一部の調査地点において環境基準値を上回っており、下層ではほとんどの調査地点において環境基準値を上回っていた。

環境基準値を上回った調査結果は、上層の調査地点 2 (0.17mg/L) 及び調査地点 4 (0.066mg/L)、下層の調査地点 2 (0.086mg/L)、調査地点 3 (0.14mg/L)、調査地点 4 (0.075mg/L) 及び調査地点 5 (0.053mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.021～0.15mg/L、下層で 0.020～0.25mg/L であり、上層においては一部の調査地点で超過していた。超過した上層の調査地点 2 は他の地点と比べ塩分が低いため、河川 (淀川) の影響を受けている可能性が高い。また、淀川では、調査日の翌日に実施された調査で T-P が一般的に高い値を示していたことから、河川から海域に流入する栄養塩類の影響による水質の悪化が考えられるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

6) 濁度

濁度は上層で 1～2 度 (カリン)、下層で 2～5 度 (カリン) の範囲であった。

7) 浮遊物質 (SS)

浮遊物質 (SS) は上層で 4～10mg/L、下層で 2～8mg/L の範囲であった。

8) クロロフィル a

クロロフィル a は上層で 3.4～29µg/L、下層で 0.8～2.6µg/L の範囲であった。

《 参 考 》

■環境基準値等（本報告関係分）

1. 環境基準

(1)大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO ₂)	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm 以下であり、かつ、 1 時間値が 0.1ppm 以下であること。
二酸化窒素 (NO ₂)	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までの ゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1 時間値の 1 日平均値が 0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、 1 時間値が 0.20mg/m ³ 以下であること。

(2)水質

①水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度（pH）	7.8 以上 8.3 以下
	化学的酸素要求量（COD）	3mg/L 以下
	溶存酸素量（DO）	5mg/L 以上
	n-ヘキサン抽出物質（油分等）	検出されないこと
III	全窒素（T-N）	0.6mg/L 以下
	全磷（T-P）	0.05mg/L 以下

注）1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及び n-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全磷の基準値は年間平均値である。

2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。

公共用水域における環境基準（BOD 又は COD）の評価方法について（昭和 52 年環水管 52 号）

(1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が 75%以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。
なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「75%水質値」を用いるものとする。

75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ 0.75×n 番目（n は日間平均値のデータ数）のデータ値をもって 75%水質値（0.75×n 番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）とする。

(2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について
環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち 75%以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。

(3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について

これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

2. 事業実施前調査結果（平成 12 年度・水質（一般項目））

項 目		事業実施前調査 (平成 12 年度・調査地点 1～5)	
		最小値 ～ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [－]	上層	7.7 ～ 8.6 (13/60)	－
	下層	7.8 ～ 8.3 (0/60)	－
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	1.6 ～ 4.9 (34/60)	3.2 ～ 3.9 (5/5)
	下層	1.2 ～ 3.6 (4/60)	2.0 ～ 2.2 (0/5)
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	5.2 ～ 14 (0/60)	8.6 ～ 9.8
	下層	0.6 ～ 11 (14/60)	6.2 ～ 6.9
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.46 ～ 2.1	0.91 ～ 1.1 (5/5)
	下層	0.29 ～ 0.82	0.44 ～ 0.49 (0/5)
全磷 (T-P) [mg/L]	上層	0.021 ～ 0.15	0.061 ～ 0.098 (5/5)
	下層	0.020 ～ 0.25	0.038 ～ 0.063 (1/5)

- 注) 1. 「最大～最小」の値は、調査地点 1～5 における全調査地点の最小値と最大値を示す。
 2. m：環境基準値を満たしていないデータ数、n：総データ数を示す。
 3. 「平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小～最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における 75% 値の最小～最大を示す。

Ⅱ 事後調查結果

大気質様式第1号（埋立地関連）

大気質測定結果総括表〔令和7年9月分〕

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	30
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	714
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	30
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	0
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	715
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	30
	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	715
	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第2号（埋立地関連）

二酸化硫黄測定結果 [令和7年9月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (月)	0.004	0.005
	2 (火)	0.003	0.004
	3 (水)	0.004	0.005
	4 (木)	0.004	0.005
	5 (金)	0.003	0.003
	6 (土)	0.004	0.005
	7 (日)	0.004	0.006
	8 (月)	0.005	0.006
	9 (火)	0.005	0.007
	10 (水)	0.005	0.007
別	11 (木)	0.004	0.005
	12 (金)	0.004	0.005
	13 (土)	0.003	0.004
	14 (日)	0.004	0.006
	15 (月)	0.004	0.005
	16 (火)	0.004	0.005
	17 (水)	0.005	0.014
	18 (木)	0.004	0.006
	19 (金)	0.003	0.005
	20 (土)	0.004	0.008
値	21 (日)	0.004	0.006
	22 (月)	0.003	0.004
	23 (火)	0.004	0.005
	24 (水)	0.003	0.004
	25 (木)	0.004	0.006
	26 (金)	0.005	0.007
	27 (土)	0.003	0.004
	28 (日)	0.003	0.004
	29 (月)	0.004	0.005
	30 (火)	0.004	0.004
有効測定日数 (日)		30	
測定時間 (時間)		714	
月平均値 (ppm)		0.004	
日平均値の最高値 (ppm)		0.005	
1時間値の最高値 (ppm)		0.014	
1時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。
2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による当時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第3号 (埋立地関連)

一酸化窒素測定結果 [令和7年9月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日	1 (月)	0.004	0.010
	2 (火)	0.005	0.009
	3 (水)	0.006	0.017
	4 (木)	0.008	0.018
	5 (金)	0.009	0.024
	6 (土)	0.001	0.004
	7 (日)	0.001	0.004
	8 (月)	0.002	0.007
	9 (火)	0.004	0.026
	10 (水)	0.005	0.016
別	11 (木)	0.007	0.027
	12 (金)	0.005	0.012
	13 (土)	0.003	0.010
	14 (日)	0.003	0.009
	15 (月)	0.001	0.004
	16 (火)	0.003	0.010
	17 (水)	0.003	0.010
	18 (木)	0.003	0.009
	19 (金)	0.002	0.007
	20 (土)	0.002	0.005
値	21 (日)	0.000	0.001
	22 (月)	0.002	0.006
	23 (火)	0.001	0.004
	24 (水)	0.002	0.007
	25 (木)	0.003	0.008
	26 (金)	0.004	0.014
	27 (土)	0.001	0.004
	28 (日)	0.001	0.009
	29 (月)	0.003	0.012
	30 (火)	0.005	0.033
有 効 測 定 日 数 (日)		30	
測 定 時 間 (時間)		715	
月 平 均 値 (ppm)		0.003	
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.009	
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.033	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第4号 (埋立地関連)

二酸化窒素測定結果 [令和7年9月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日 別	1 (月)	0.008	0.018
	2 (火)	0.008	0.012
	3 (水)	0.013	0.022
	4 (木)	0.014	0.028
	5 (金)	0.011	0.015
	6 (土)	0.013	0.032
	7 (日)	0.011	0.019
	8 (月)	0.014	0.023
	9 (火)	0.018	0.035
	10 (水)	0.014	0.021
値	11 (木)	0.015	0.027
	12 (金)	0.016	0.023
	13 (土)	0.008	0.017
	14 (日)	0.008	0.015
	15 (月)	0.010	0.017
	16 (火)	0.016	0.027
	17 (水)	0.012	0.017
	18 (木)	0.013	0.026
	19 (金)	0.016	0.024
	20 (土)	0.011	0.023
値	21 (日)	0.006	0.017
	22 (月)	0.016	0.030
	23 (火)	0.012	0.022
	24 (水)	0.013	0.025
	25 (木)	0.022	0.034
	26 (金)	0.022	0.048
	27 (土)	0.009	0.015
	28 (日)	0.013	0.030
	29 (月)	0.016	0.028
	30 (火)	0.021	0.036
有 効 測 定 日 数 (日)		30	
測 定 時 間 (時間)		715	
月 平 均 値 (ppm)		0.013	
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.022	
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.048	
1 時 間 値 が 0.2ppm を 超 え た 時 間 数 (時間)		0	
1 時 間 値 が 0.1ppm 以上 0.2ppm 以下 の 時 間 数 (時間)		0	
日 平 均 値 が 0.06ppm を 超 え た 日 数 (日)		0	
日 平 均 値 が 0.04ppm 以上 0.06ppm 以下 の 日 数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2.大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第5号（埋立地関連）

窒素酸化物（NO+NO₂）測定結果 [令和7年9月分]

測 定 局		南港中央公園		
項 目		日 平 均 値		1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
		(ppm)	NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)	
日 別 値	1 (月)	0.012	67.2	0.028
	2 (火)	0.013	64.6	0.021
	3 (水)	0.019	67.0	0.032
	4 (木)	0.023	63.3	0.039
	5 (金)	0.019	55.4	0.037
	6 (土)	0.014	92.7	0.033
	7 (日)	0.012	91.8	0.021
	8 (月)	0.016	87.3	0.024
	9 (火)	0.022	82.7	0.057
	10 (水)	0.019	73.8	0.031
	11 (木)	0.022	69.0	0.047
	12 (金)	0.022	75.5	0.031
	13 (土)	0.011	72.5	0.021
	14 (日)	0.011	76.9	0.024
	15 (月)	0.011	90.6	0.018
	16 (火)	0.019	85.6	0.035
	17 (水)	0.015	78.9	0.025
	18 (木)	0.016	79.6	0.031
	19 (金)	0.018	86.8	0.029
	20 (土)	0.013	86.9	0.028
	21 (日)	0.006	92.8	0.017
	22 (月)	0.018	86.8	0.033
	23 (火)	0.013	91.3	0.024
	24 (水)	0.015	89.4	0.030
	25 (木)	0.024	87.9	0.038
	26 (金)	0.026	85.1	0.062
	27 (土)	0.010	90.4	0.019
	28 (日)	0.014	92.5	0.039
	29 (月)	0.020	83.1	0.036
	30 (火)	0.026	79.3	0.069
有 効 測 定 日 数 (日)		30		
測 定 時 間 (時間)		715		
月 平 均 値 (ppm)		0.017		
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.026		
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.069		
月 平 均 値 NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)		80.1		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. NO₂ / (NO+NO₂) の算定方法は、下記のとおりである。

日(月)平均値NO₂ / (NO+NO₂) =

(NO及びNO₂が同時測定されている時間のNO₂濃度の日(月)間にわたる総和) /

(NO及びNO₂が同時測定されている時間のNO+NO₂濃度の日(月)間にわたる総和)

3. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第6号（埋立地関連）

浮遊粒子状物質測定結果 [令和 7 年 9 月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日 平 均 値 (mg/m ³)	1 時 間 値 の 最 高 値 (mg/m ³)
日 別	1 (月)	0.010	0.042
	2 (火)	0.007	0.021
	3 (水)	0.011	0.031
	4 (木)	0.009	0.032
	5 (金)	0.008	0.029
	6 (土)	0.013	0.029
	7 (日)	0.019	0.039
	8 (月)	0.025	0.042
	9 (火)	0.028	0.058
	10 (水)	0.023	0.042
	11 (木)	0.011	0.021
	12 (金)	0.014	0.024
	13 (土)	0.009	0.020
	14 (日)	0.028	0.050
	15 (月)	0.022	0.040
	16 (火)	0.022	0.038
	17 (水)	0.039	0.090
	18 (木)	0.017	0.039
	19 (金)	0.010	0.013
	20 (土)	0.022	0.047
値	21 (日)	0.009	0.059
	22 (月)	0.010	0.014
	23 (火)	0.015	0.025
	24 (水)	0.011	0.015
	25 (木)	0.014	0.021
	26 (金)	0.020	0.032
	27 (土)	0.010	0.012
	28 (日)	0.015	0.044
	29 (月)	0.013	0.033
	30 (火)	0.011	0.014
有 効 測 定 日 数 (日)		30	
測 定 時 間 (時間)		715	
月 平 均 値 (mg/m ³)		0.016	
日平均値の最高値 (mg/m ³)		0.039	
1 時間値の最高値 (mg/m ³)		0.090	
1 時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第7号 (埋立地関連)

気象観測結果（風向・風速）[令和7年9月分]

測 定 局		南港中央公園			
項 目		風 速			最 多 風 向 16方位
		平均 風速 (m/s)	最大風速		
			風速 (m/s)	風向 16方位	
日	1 (月)	1.7	3.4	W	W
	2 (火)	1.6	3.6	W	WSW
	3 (水)	1.2	3.1	WSW	WNW
	4 (木)	0.8	1.7	WSW	WNW
	5 (金)	1.2	2.8	E	ENE
別	6 (土)	1.0	2.9	WSW	WSW
	7 (日)	0.9	1.7	WSW, W	W
	8 (月)	1.2	2.0	WSW	WSW
	9 (火)	1.0	1.9	WSW	W
	10 (水)	1.2	2.3	WNW	WNW
	11 (木)	0.8	1.8	W	WNW
	12 (金)	1.1	3.3	W	WNW
	13 (土)	1.3	2.0	SW	SW
	14 (日)	1.1	3.0	WSW	WNW
	15 (月)	1.1	1.9	WSW	W
	16 (火)	1.1	3.0	WSW	W
	17 (水)	1.2	2.2	WSW	W
	18 (木)	1.8	3.4	W	WSW
	19 (金)	1.3	2.1	NNE	NNE
	20 (土)	1.3	2.5	SW	SW
値	21 (日)	1.7	3.1	NNE	NNE
	22 (月)	1.3	2.1	NNE	NNE
	23 (火)	1.2	1.7	E, ENE	E
	24 (水)	1.5	2.2	ESE	E
	25 (木)	0.6	1.4	WNW	ENE
	26 (金)	0.8	1.6	WSW	W
	27 (土)	1.4	2.3	ENE	NNE
	28 (日)	0.8	1.6	ENE	NE
	29 (月)	1.1	2.0	NNE	WSW
	30 (火)	0.8	1.8	W	N
測 定 時 間 (時間)		720			
月 平 均 風 速 (m/s)		1.2			
月 最 大 風 速 (m/s)		3.6			
月 最 多 風 向 (16方位)		W			

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

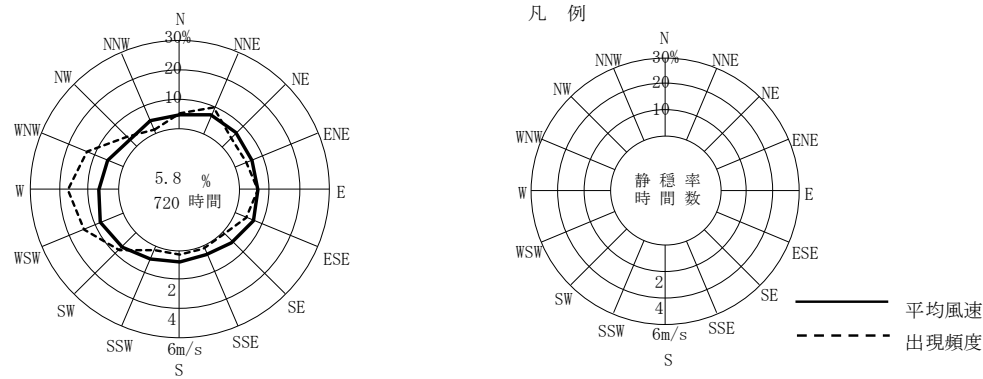
2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第 8 号（埋立地関連）

風向別出現頻度及び風向別平均風速 [令和 7 年 9 月分]

項目 \ 方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定 時間数
度 数	67	31	27	41	28	5	6	11	10	57	102	120	92	33	11	37	42	720
頻 度 (%)	9.3	4.3	3.8	5.7	3.9	0.7	0.8	1.5	1.4	7.9	14.2	16.7	12.8	4.6	1.5	5.1	5.8	-
平均風速 (m/s)	1.4	1.3	1.2	1.2	1.3	0.9	0.6	0.8	0.9	1.3	1.6	1.3	1.1	0.7	0.9	1.0	0.2	-

測定局：南港中央公園局 風向風速計高さ：14.2m



注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

風配図 [令和 7 年 9 月分]

水質様式第 1 号

水質調査結果（一般項目）〔令和 7 年 9 月分〕

調査日：令和7年9月2日

調査点 項目		1	2	3	4	5	最小値	～	最大値	平均値
時刻		8:20	8:00	8:41	9:24	9:07	-			-
透明度 [m]		3.0	1.1	3.1	1.8	3.0	1.1	～	3.1	2.4
水温 [℃]		29.8	29.8	29.7	30.4	30.2	29.7	～	30.4	30.0
		25.6	26.4	25.5	25.7	26.0	25.5	～	26.4	25.8
塩分 [－]		27.1	21.3	28.8	26.2	28.3	21.3	～	28.8	26.3
		32.9	32.6	32.9	32.9	32.8	32.6	～	32.9	32.8
濁度 [度(カリン)]		1	2	1	1	1	1	～	2	1
		5	3	3	4	2	2	～	5	3
浮遊物質量 (SS) [mg/L]		7	10	4	7	4	4	～	10	6
		8	2	4	6	7	2	～	8	5
水素イオン濃度 (pH) [－]		8.5	8.7	8.5	8.6	8.5	8.5	～	8.7	-
		7.9	7.9	7.8	8.0	8.1	7.8	～	8.1	-
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]		4.0	6.1	4.5	4.8	4.6	4.0	～	6.1	4.8
		1.9	2.6	2.3	2.3	2.4	1.9	～	2.6	2.3
溶存酸素量 (DO)	濃 度 [mg/L]	7.6	8.2	7.6	8.4	8.0	7.6	～	8.4	8.0
	飽和度 [%]	3.5	2.6	2.9	4.0	4.3	2.6	～	4.3	3.5
全窒素 (T-N) [mg/L]		117	122	118	130	124	117	～	130	122
		52	39	43	59	64	39	～	64	51
全窒素 (T-N) [mg/L]		0.36	1.2	0.34	0.61	0.52	0.34	～	1.2	0.61
		0.32	0.45	0.52	0.47	0.36	0.32	～	0.52	0.42
全燐 (T-P) [mg/L]		0.038	0.17	0.047	0.066	0.048	0.038	～	0.17	0.074
		0.046	0.086	0.14	0.075	0.053	0.046	～	0.14	0.080
クロロフィル a (chl. a) [μg/L]		3.4	29	4.7	7.5	5.4	3.4	～	29	10
		0.8	2.4	2.2	2.6	1.9	0.8	～	2.6	2.0

注) 上段：上層（海面下1m）
下段：下層（海底面上2m）

特記事項